

地域コミュニティの充実

アナ： 「市長が語る 2018 三島」第 10 回の今日は、「地域コミュニティの充実」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 地域のコミュニティ充実について、三島市が特に力を入れている取り組みを教えてくださいいただけますか。

市長： コミュニティ充実のためには、地域の課題は地域で考え、話し合いで解決していくことが一番大切であると考えています。そのような場の提供を目的として「地域コミュニティ連絡会」を各小学校区単位で行っております。

アナ： 「地域コミュニティ連絡会」とはどのような会議ですか。

市長： この会議は、自治会長や民生委員、PTAや消防団など、地域の各団体でリーダーとしてご活躍されている皆さんに集まっていただき、各地域の課題について話し合いをしていただくものです。

アナ： 地域で抱える課題というと、具体的にはどのようなことが挙げられていますか。

市長： 例えば、少子高齢化問題では、「一人暮らしの高齢者が増えているが、老人会などに入らない場合は会話の機会もなく、孤立してしまう。」ことや、「子どもの数が減って子ども会が解散してしまう自治会が増えている。」といったことなど、各世代にわたって地域での交流の場が少なくなっていることが、各校区共通の課題として挙げられました。

アナ： そういった課題を踏まえて、今年度の地域コミュニティ連絡会ではどのような話し合いが行われるのでしょうか。

市長： 今年度のコミュニティ連絡会も、年 2 回の開催を予定しております。まず、参加者相互の自己紹介を兼ねてご発言いただく「地域の課題等についての情報共有」を行った後に、各地域での共通の課題として浮かび上がっている「居場所づくり」、「地域で子どもを育てること」、「ゴミに関すること」、「防災に関すること」の 4 つのテーマについて、地域でどのような取り組みができるのか話し合いをしていただきたいと思いますと考えております。

アナ： どれも住民生活に大きく関わる大切な話し合いですね。私もぜひ参加したいです。広報みしま 5 月 1 日号と市のホームページに掲載されているとお聞きしましたので、皆さんも是非ご参加下さい。

また、コミュニティ連絡会が発展した地域で、自主的に運営する「地域コミュニティ協議会」が実際に立ち上がっていると聞きましたが、どの校区で協議会を設立したのでしょうか。

市長： 平成 27 年度に東小学校区で、平成 28 年度には西小学校区で「協議会」が設立

されています。

アナ： その協議会は、どのような方々で構成され、どのような活動を行っているのでしょうか。

市長： 各小学校区の自治会や老人会、PTAや子供会、商店会、消防団など多くの団体で構成されています。連絡会は年2回の開催ですが、協議会では回数を増やし、地域の課題や解決策について話し合いを行っており、東小校区では、かねてからの懸案であった児童の安全対策として協議会が防犯パトロールをしていくこととなりました。

アナ： 「地域コミュニティ協議会」は各小学校区の主催になるということですが、設立や運営の方法がわからず躊躇されている人もいると思います。市は何らかの支援をしているのでしょうか。

市長： 市では、会議の運営費を補助する制度があり、また、会議を行う人の負担を軽減するために会議運営のサポートをする「地域づくりコーディネーター」を養成して派遣する制度も設けておりますので、ぜひご活用ください。

アナ： 各小学校区が主催する「地域コミュニティ協議会」が、さらに増えることを期待したいと思います。

最後に地域コミュニティについて、市長の思いを一言よろしく申し上げます。

市長： 各地域が安全・快適に生活できるよう、自分自身が関わって地域を良くしていこうとする「シビックプライド」を持ち、行動する「シビックテック」を醸成していきたいと考えております。自分たちの手で自らの地域を作り上げていくことが、よりよい地域、そして、本当にそこに住んでよかったと感じられる地域になるのではないかと思います。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。